

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 3月 24日

【事業所概要 (事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------------------|-----------|---------------|
| 事業所番号 | 4271402143 | | |
| 法人名 | 有限会社 みずほ福祉サービス | | |
| 事業所名 | 有限会社みずほ福祉サービス グループホーム「みずほ野」 | | |
| 所在地 | 長崎県雲仙市瑞穂町西郷己 797 番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 26年 2月 28日 | 評価結果市町受理日 | 平成 26年 3月 28日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|--------------|--|
| 基本情報リンク先 URL | |
|--------------|--|

【評価機関概要 (評価機関記入)】

| | |
|-------|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構 |
| 所在地 | 〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所一階 |
| 訪問調査日 | 平成 26年 3月 17日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

自然に恵まれた当事業所は環境に溶け込む外観を備えている。事業主が造園業も営んでいるため自然を活かした造作がなされている。自然の持つ癒しの部分と介護のマンパワーを融合させたサービスを理想としている。
利用者がデッキにて滝の水音を愉しんだりできる庭園、露天風呂の他、畑には四季の野菜を育てて収穫する楽しみとマンパワーの人の痛みがわかる心を持った職員の育成とケアの均一化に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

長年介護職に携わり、居宅や通所等多方面の福祉分野の経験がある管理者の下、開設 10 年目を迎えたホームは、職員の離職も少なく安定した支援が提供され、職員と入居者の距離が近く入居者と職員が共に楽しみながら生活できる笑顔溢れるホームである。男性職員が多い事も特徴であり、男性入居者との同姓の会話が楽しめるほか、身体介護での安定感や男性ならではの冷静さが入居者の安心にも繋がっている。年々重度化が進む中で入居年数が長い入居者と年齢の若い入居者に身体状況の違いを感じ始めた為、入居者の状況に応じたレクリエーションを工夫しながら入居者のニーズを引き出して自分達でアプローチ出来るホームを目指していきたいと熱心に語る職員の姿から、益々の好感と期待の持てるホームである。

1 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「入居者も職員も幸せに、快適に過ごせる施設」を目標に自分の身内を入居してもらえるグループホーム作りをスタッフ全員と確認しあっている。 | 事業所理念を下に、人の心に向き合う事を大事に考え、管理者は、日々の業務の中で入居者に対する心の持ち方を職員に伝える事で理念の実践に繋げている。入居者の気持ちを理解して気持ちに寄り添う言葉掛けをされている事から、入居者の自信と笑顔に繋がっている様子が窺えた。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 住宅街とは言えない環境だが普段通られる方への挨拶、施設行事の地域自治会への声かけ、逆に地域自治会からの声かけにも協力している。 | 町内会に参加して、地域住民との挨拶や、ホームと隣接した畑で作業をしている方と立ち話の機会を多く持つ事で地域住民に顔を覚えて頂き、老人会より雑巾の差し入れや趣味の舞踊を披露していただいたりと気軽に立ち寄って頂ける関係づくりに繋がった。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地区の小中学校の福祉体験学習の受け入れや地元老人会の慰問、相談等受けている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回の頻度で参加メンバーと会議を行っている。 | 推進会議では家族の思いやホームの思いを伝える場として活用され、外出支援に対する情報交換や行事への参加協力等の意見交換がされている。実際にホームの支援の様子を見て頂き、職員の言葉使いや態度について指摘を頂いた事もあり、職員の接遇に対する振り返りにも繋がった。 | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 入居者の中で公的制度を利用されてる方がおられるので相談、連絡等で福祉事務所との行き来がある。 | 公的扶助や困難事例が発声した際は、福祉事務所へ実際に足を運び、状況を伝え顔が見える関係づくりを意識して繋げている。又、広域圏より推進会議の内容やテーマの集団指導を受け、来年度はより充実した運営推進会議となるよう会議の質をあげる取り組みを検討されている。 | |

| | | | | | |
|----|---|---|--|--|--|
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日中は施錠はしておらず、自由に出入りできる様にしており、身体拘束に関しても行っていない。 | 前回の外部評価で「ちょっと待つて」の言葉を無意識に発している事を指摘され、今回、言葉かけや拘束にあたる態度の理解を深めることを目標達成計画に掲げて、全体で考える取り組みを行った。言葉の拘束が相手に与える影響を理解する事で、職員の意識の持ち方に変化が生じて接遇改善へと繋がった。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 虐待に関しては肉体的虐待は勿論だが、ふと何気ない言葉にも注意を払いスタッフ全体で認識しあっている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度等実際に行っている役員が居るのと包括支援センターに解らないこと等いつでも相談できる体制をとっている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居者、家族の不安、疑問点を納得できるまで話し合いしてから契約解約の締結を行っている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 入居者、家族の不安、疑問点を納得できるまで話し合いしてから契約解約の締結を行っている。 | 面会時や年2回の家族との交流会で、管理者や職員の会話のやり取りの中から家族の思いを汲み取り、意見を出しやすい環境作りに繋げている。又、毎月みずほ通信を発行して、時期に応じてホームが注意している事や支援に対する思いを伝える事で家族の理解や安心を得るよう働きかけている。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月のスタッフ会議や日常的にも意見を言いやすい様な雰囲気、関係づくりを心掛けている。 | 日頃から職員は管理者と気軽に相談できる関係性が出来ており、個人的に出された意見はスタッフ会議に挙げ、職員全体で考えるようにしている。スタッフ会議では日頃の気づきやアイディアを話し合い、よりよいホーム作りへと職員全体で取り組まれている。 | |

| | | | | |
|-----------------------------|---|---|--|--|
| 12 | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>条件や職場環境に関しては、事業所ができる範囲でできる限り、対応できるものに関しては努めて努力している気持ちである。</p> | | |
| 13 | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>勉強会の参加や接遇やメンタル的なセミナーへの参加、スタッフ会議等でも内部研修を行っている。</p> | | |
| 14 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>「スタッフの良質なケアの均一化」をホーム内のみではなく、近隣施設の均一化も考えて連絡協議会等にも参加して相互訪問や研修を行っている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>入居前に訪問し、時間がとれる場合施設見学していただきその時に疑問、不安、要望等を聞き取り入居時に混乱が起きないように支援を行っている。</p> | | |
| 16 | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>ご家族にもお会いして、見学もしていただいて施設を理解していただき、疑問、不安等がない状態での関係づくりに努めている。</p> | | |
| 17 | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>本人、家族にとってベターなサービスの利用を心掛け、即入居と言う考えせず、他のサービスが妥当と思われる場合には他事業所を一緒に探している。</p> | | |

| | | | | |
|-------------------------------------|---|--|---|--|
| 18 | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 「入居者も職員も幸せに、快適に過ごせる施設」の思いがあるため互いに労り笑いあえる暮らしを大切にしている。 | | |
| 19 | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族をないがしろにせず、入居されてからの家族と本人の関係が希薄にならないよう、家族への声かけを行っている。 | | |
| 20 | 8 ○馴染みの人や場との関係継続の支 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | どうしても入居されると関係が希薄になりがちない様考えてお邪魔したりして関係が途切れないようにしている。 | 入居によって失われがちな馴染みの人に対して職員が繋ぎの役割を担い、面会や訪問の依頼等、入居者の「会いたい」気持ちに寄り添う支援を心掛けている。通院後に自宅やお墓周辺に立ち寄り、見慣れた風景に触れる事で安心感に繋がる様に支援されている。 | |
| 21 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | それぞれ、育ってきた環境、そりが合う合わないがありその人に合う利用者に関わりをもっていけるようトラブルにならない様スタッフ全体で努めている。 | | |
| 22 | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 利用が終了しても、巡り合えた「縁」を大切にしていきたいと思っており、相談等あるときは支援行い、できる限る「縁」が切れない様に努めている。 | | |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 入居者の「今」を大切にしながら考える様にして、困難な場合も、とりあえず希望や意向を実行してみよう心掛けている。 | 日頃、入居者と関わるなかで普段とは違う表情や仕草がみられた時には、その方が欲している事や不安に感じている部分を職員がフォローして、笑顔にする働きかけがなされている。入居者の出来る力を引き出して、生活の中でその方の役割を見出し、生きる自信や意欲に繋がる様に支援されている。 | |

| | | | | |
|----|---|--|---|--|
| 24 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族や本人に確認しあい、その方にとってサービス内容が合っているか検討している。 | | |
| 25 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 個々の過ごし方、状態等、観察し問題がある場合には本人の負担にならない程度から少しずつ変えていき、有する力が損なわれない様に努めている。 | | |
| 26 | 10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 入居者、家族との日常の会話や気づきの中から意向を把握し会議で話し合いを持ち、計画プランを家族に見ていただき、ご意見を頂く形で介護計画を作成している。 | 介護計画の立案にあたっては職員の意見が総合的に加味されたものとなっており、計画には具体的な本人の意欲に繋がる言葉や介護にあたっての留意点が記載され立案の意図が解かり易いものとなっている。計画の実施状況は毎日記録され、次の計画立案への判断材料として繋がられている。 | 支援記録は、日々の状況が詳細に記載されているが、計画書の実施状況に対する具体的な記録が不足している為、評価根拠が曖昧な状態である。プランに対する着眼点を理解しながら評価の根拠となる記録を具体的に残し、より実りあるプランの作成に繋がっていくことを今後期待したい。 |
| 27 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護日誌やチェック表に記入し、スタッフ全体が共有し、気づきに関しては会議や申し送り時に話し合い見直しをしている。 | | |
| 28 | ○一人ひとりを支えるための事業所多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | かかりつけの病院受診の支援。敷地内におけるプレハブでは会議や職員の行事の練習の場、地域や他事業所の依頼に応じて提供している。 | | |
| 29 | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 警察、消防との連携、地域青年団との協力、地区の学校との福祉の場を提供している。 | | |
| 30 | 11 ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医への定期受診支援を行い、受診の際にはチェック表等持参し、主治医に提示している。結果に関しても家族にも話すよう心掛けている。 | 以前からのかかりつけ医を継続できる。主治医の受診時は、体調変化の情報を提供して、適切な処置が受けられる様に対処されている。かかりつけ医の往診を受け入れて、細やかな情報の提供や適切な対処の指示を受けることで利用者や家族の安心感にも繋がっている。 | |
| 31 | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 利用者とのかかわりの中で気づいた点は医療機関と連携をとり適切な対応の看護を受けられる関係づくりをしている。 | | |

| | | | | |
|----|---|--|---|---|
| 32 | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院した際、スタッフは病院関係者と密に会い情報交換や相談等して協力関係をとれるように心掛けている。</p> | | |
| 33 | <p>12 ○重度化や終末期に向けた方針の共と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>家族の要望にこたえたいと思っており、ホーム内における介護支援に努め、消防の方とも連携をとり、スムーズな対応がとれるようにしている。</p> | <p>出来るだけ家族の意向に添いたい方針であるが、救急搬送されるまでの支援が現状である。重度化に伴い、人工透析など医療知識が必要な入居者もおり、食事や対応などかかりつけ医より相談や助言を頂きながら支援されている。今後は、より一層研修の機会を持ち必要な知識の習得に向けた研鑽を考慮されている。</p> | |
| 34 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>消防主催の救急法の研修や消防訓練時に救急法のアドバイス等を消防署から受けている。</p> | | |
| 35 | <p>13 ○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>スタッフの消防学校へ参加消防署、および地域の消防団と災害時の避難および消火時の水源確保等について話し合いの場を設けている。</p> | <p>年2回の避難訓練では両日共に消防署の立会いがあり、職員全員が初動動作の経験を行っていると共に消防署とも相談しやすい関係性を保っている。今回、自家発電の準備を整えると共にホームから防火水槽までの距離がある為、有事の際は近隣施設や畑の貯水タンクを利用し、消火活動を行う理解と協力を得た。</p> | <p>喫煙職員は、灰皿の後始末を目視して火元の確認を行っているが、更に、火元の意識付けを強化する為に自己点検表の継続的なチェックと近隣住民への迅速な協力体制の確立と自然災害への意識を持った取り組みを今後期待したい。</p> |

| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
|--------------------------|----|---|--|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 家族、来訪者の声に耳を傾け、スタッフの言葉づかい、利用者に対する接し方を確認しあう機会を設けている。特に利用者に対する話し方には気をつける様にしている。 | 家庭的で気取らない関係性が入居者の笑顔に繋がっている一面もあるが、語調や態度等接遇の粗さが見られた為、言葉使いや接遇に関して目標達成計画に掲げ職員全体で言葉使いへの意識を持ち取り組んだ。自分が相手にされて嫌な事はしない様に職員相互に注意することで職員個々が気づき接遇改善に繋がった。 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者の中での思いでの散髪や買い物等の訴えがあった場合には対応できるように努めている。 | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1日の流れはある程度決ってはいるものの、ペースは業務主体ではなく、利用者主体で考えるように心掛けている。 | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 身だしなみやおしゃれに関してはある程度、スタッフの援助にて声かけや手伝いながら行う様にしている。 | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 施設で採れた野菜を使ったり、可能な方にはお手伝いしていただき、時期を見ながら外で花や緑を見ながらの食事会を行い食事を楽しめるようにしている。 | 身体状況で外出や生活が狭まる中で、食材を通して四季を感じる取り組みがあり入居者も喜ばれている。昔ながらの生活を振り返り、屋外で炭をおこして秋刀魚や焼き芋を楽しんだり、個々に異なる嚥下状態も考慮しながら、お餅をゆっくりと時間をかけて口に含んで頂き、食材本来の触感を感じて頂きたい思いで支援された事例もある。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 病院の行っている食事に対する勉強会の参加や解らない時は栄養士に連絡を取り、疑問点は取り除くようにしている。 | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後に個々の口腔ケアに関して行っている。 | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄パターンをみつけて極力最低限のおむツ使用でできるよう下着にパツト使用等で対応したりしている。 | 排泄パターンを把握して、職員が連携を持ちながらオムツ外しに向けた取り組みがある。トイレ誘導と共に立ち上がりや立位保持等、生活リハビリを行い現状維持ができる声かけで励まし支援されている。誘導時の言葉かけが、入居者の生活意欲や自信に繋がりがり、入居者の笑顔や言葉から職員と信頼関係の良さが窺われた。 |

| | | | | |
|----|---|---|---|--|
| 44 | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>ある程度の運動や水分補給、食物繊維等の含まれる食事づくりを心掛けている。</p> | | |
| 45 | <p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>利用者の希望に応えられる様毎日の入浴が可能なが様に入浴日は毎日としている。状況に応じてはシャワー浴や清拭を随時行っている。</p> | <p>週3回の入浴を基本としているが、職員の都合で入浴しないように、一日を通して希望の入浴時間帯の入浴を支援されている。室内に個室もあるが、夏場にはホーム敷地内に露天風呂で入浴できる事もある。手入れが整った箱庭が、季節の変化を感じ、寛いで入浴できる心配りが入居者の安らぎにもなっている。</p> | |
| 46 | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>個々の生活パターンを把握し、その人に応じた休憩や睡眠時間をとれるようにしている。</p> | | |
| 47 | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>個々の薬に関する重要性については会議等で話し合いを場を設けている。服薬の支援も誤薬等無い様にスタッフ全体で声かけ、確認に努めている。</p> | | |

| | | | | |
|----|---|--|---|--|
| 48 | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりに応じて手伝い、草むしり等自らしてくださる。嗜好品についてはタバコを決った本数を喫煙場所で吸っておられる。 | | |
| 49 | 18 ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 家族に声かけし、外泊が可能な方は外泊していたり、受診の帰りに買い物等に行ったりしている。 | 年間行事として外出を積極的に取り入れ「外に出て人とふれあい刺激を受けることも大事」と気分転換と共に四季を感じる支援が入居者の楽しみともなっている。事業主が造園業を営んでいる事から植栽にもこだわりがあり、訪問当時も敷地内を散歩し眺める入居者の寛いだ姿が印象的であった。 | |
| 50 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | スタッフと一緒に近所のスーパーに買い物や、欲しいものがあるときはお金の重要性を話し合いながら支援している。 | | |
| 51 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話や手紙に関しては自由にかけてり、出せるようにしている。 | | |
| 52 | 19 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 温かい雰囲気づくりや、窓の外をみると、庭園があり、四季を感じられるようにしている。 | 入居者製作のカレンダーは、入居者の視線の高さに掲示され文字の大きさや季節の絵柄に配慮して、日付の理解や混乱を避ける工夫が感じられた。食堂は、庭を眺めるソファや絨毯が準備され、思い思いに気持ちよく寛いで過ごせる空間が配慮されている。 | |
| 53 | ○共用空間における一人ひとりの居所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有空間の中でもソファや食事テーブル、和室等あり思い思いに過ごせるようにしている。 | | |

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 個人差があり個々の思いがある品物が持ち込まれているが、人によっては持ち込み品が少なく、その場合には職員の手作りの飾り付け等行い工夫をしている。 | 各居室は掃き出し窓となっており、窓辺にソファを設置し日向ぼっこができる等家庭的な温かさを感じることができ。和洋室の作りで個々の生活を重視した空間づくりの他、趣味の飾り付けや使い慣れた家具の持ち込みで寛げる雰囲気作りを配慮されている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室やトイレには札をかけているが、覚えておられる方も居るが入居されて間もない方にはスタッフが気掛けてさりげなく声かけをするようにしている。 | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまにある |
| | | | 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と |
| | | | 2, 家族の2/3くらいと |
| | | | 3, 家族の1/3くらいと |
| | | | 4, ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|----------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3, たまに |
| | | | 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1, 大いに増えている |
| | | ○ | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3, あまり増えていない |
| | | | 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3, 職員の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3, 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

1 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「入居者も職員も幸せに、快適に過ごせる施設」を目標に自分の身内を入居してもらえるグループホーム作りをスタッフ全員と確認しあっている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 住宅街とは言えない環境だが普段通られる方への挨拶、施設行事の地域自治会への声かけ、逆に地域自治会からの声かけにも協力している。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地区の小中学校の福祉体験学習の受け入れや地元老人会の慰問、相談等受けている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回の頻度で参加メンバーと会議を行っている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 入居者の中で公的制度を利用されてる方がおられるので相談、連絡等で福祉事務所との行き来がある。 | | |

| | | | | | |
|----|---|--|--|--|--|
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>日中は施錠はしておらず、自由に出入りできる様にしており、身体拘束に関しても行っていない。</p> | | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p> | <p>虐待に関しては肉体的虐待は勿論だが、ふと何気ない言葉にも注意を払いスタッフ全体で認識している。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>成年後見制度等実際に行っている役員が居ると包括支援センターに解らないこと等いつでも相談できる体制をとっている。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>入居者、家族の不安、疑問点を納得できるまで話し合いしてから契約解約の締結を行っている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>入居者、家族の不安、疑問点を納得できるまで話し合いしてから契約解約の締結を行っている。</p> | | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>毎月のスタッフ会議や日常的にも意見を言いやすい様な雰囲気、関係づくりを心掛けている。</p> | | |

| | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|--|
| 12 | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>条件や職場環境に関しては、事業所ができる範囲でできる限り、対応できるものに関しては努めて努力している気持ちでいる。</p> | | |
| 13 | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>勉強会の参加や接遇やメンタル的なセミナーへの参加、スタッフ会議等でも内部研修を行っている。</p> | | |
| 14 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>「スタッフの良質なケアの均一化」をホーム内のみではなく、近隣施設の均一化も考えて連絡協議会等にも参加して相互訪問や研修を行っている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>入居前に訪問し、時間がとれる場合施設見学していただきその時に疑問、不安、要望等を聞き取り入居時に混乱が起きないように支援を行っている。</p> | | |
| 16 | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>ご家族にもお会いして、見学もしていただいて施設を理解していただき、疑問、不安等がない状態での関係づくりに努めている。</p> | | |
| 17 | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>本人、家族にとってベターなサービスの利用を心掛け、即入居と言う考えず、他のサービスが妥当と思われる場合には他事業所と一緒に探している。</p> | | |

| | | | | | |
|----------------------------|---|---|--|--|--|
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 「入居者も職員も幸せに、快適に過ごせる施設」の思いがあるため互いに労り笑いあえる暮らしを大切にしている。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族をないがしろにせず、入居されてからの家族と本人の関係が希薄にならないよう、家族への声かけを行っている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | どうしても入居されると関係が希薄になりがちなので、自由な時間双方無理のない様考えてお邪魔したりして関係が途切れないようにしている。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | それぞれ、育ってきた環境、そりが合う合わないがありその人に合う利用者に関わりをもっていけるようトラブルにならない様スタッフ全体で努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 利用が終了しても、巡り合えた「縁」を大切に していきたいと思っており、相談等あるときは支援行い、できる限る「縁」が切れない様に努めている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 入居者の「今」を大切に考えている様にして、困難な場合も、とりあえず希望や意向を実行してみよう心掛けている。 | | |

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 24 | | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>家族や本人に確認しあい、その方にとってサービス内容が合っているか検討している。</p> | | |
| 25 | | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p> | <p>個々の過ごし方、状態等、観察し問題がある場合には本人の負担にならない程度から少しずつ変えていき、有する力が損なわれない様に努めている。</p> | | |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>入居者、家族との日常の会話や気づきの中から意向を把握し会議で話し合いを持ち、計画プランを家族に見ていただき、ご意見を頂く形で介護計画を作成している。</p> | | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>介護日誌やチェック表に記入し、スタッフ全体が共有し、気づきに関しては会議や申し送り時に話し合い見直しをしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>かかりつけの病院受診の支援。敷地内におけるプレハブでは会議や職員の行事の練習の場、地域や他事業所の依頼に応じて提供している。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>警察、消防との連携、地域青年団との協力、地区の学校との福祉の場を提供している。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|---|--|--|--|
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>かかりつけ医への定期受診支援を行い、受診の際にはチェック表等持参し、主治医に提示している。結果に関しても家族にも話すよう心掛けている。</p> | | |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>利用者とのかかわりの中で気づいた点は医療機関と連携をとり適切な対応の看護を受けられる関係づくりをしている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院した際、スタッフは病院関係者と密に会い情報交換や相談等して協力関係をとれるように心掛けている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>家族の要望にこたえたいと思っており、ホーム内における介護支援に努め、消防の方とも連携をとり、スムーズな対応がとれるようにしている。</p> | | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>消防主催の救急法の研修や消防訓練時に救急法のアドバイス等を消防署から受けている。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>スタッフの消防学校へ参加消防署、および地域の消防団と災害時の避難および消火時の水源確保等について話し合いの場を設けている。</p> | | |

| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
|--------------------------|----|--|---|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 家族、来訪者の声に耳を傾け、スタッフの言葉づかい、利用者に対する接し方を確認しあう機会を設けている。特に利用者に対する話し方には気をつける様になっている。 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者の中での思いでの散髪や買い物等の訴えがあった場合には対応できるように努めている。 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1日の流れはある程度決ってはいるものの、ペースは業務主体ではなく、利用者主体で考えるように心掛けている。 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 身だしなみやおしゃれに関してはある程度、スタッフの援助にて声かけや手伝いながら行う様になっている。 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 施設で採れた野菜を使ったり、可能な方にはお手伝いしていただき、時期を見ながら外で花や緑を見ながらの食事会を行い食事を楽しめるようにしている。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 病院の行っている食事に対する勉強会の参加や解らない時は栄養士に連絡を取り、疑問点は取り除くようにしている。 |

| | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>毎食後に個々の口腔ケアに関して行っている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p> | <p>排泄パターンをみつけて極力最低限のオムツ使用でできるよう下着にパット使用等で対応したりしている。</p> | | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>ある程度の運動や水分補給、食物繊維等の含まれる食事づくりを心掛けている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>利用者の希望に応えられる様毎日の入浴が可能な様に入浴日は毎日としている。状況に応じてはシャワー浴や清拭を随時行っている。</p> | | |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>個々の生活パターンを把握し、その人に応じた休憩や睡眠時間をとれるようにしている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>個々の薬に関する重要性については会議等で話し合いを場を設けている。服薬の支援も誤薬等無い様にスタッフ全体で声かけ、確認に努めている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>一人ひとりに応じて手伝い、草むしり等自らして下さる。嗜好品についてはタバコを決った本数を喫煙場所でお吸っておられる。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>家族に声かけし、外泊が可能な方は外泊していただいたり、受診の帰りに買い物等に行ったりしている。</p> | | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>スタッフと一緒に近所のスーパーに買い物や、欲しいものがあるときはお金の重要性を話し合いながら支援している。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>電話や手紙に関しては自由にかけたり、出せるようにしている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>温かい雰囲気づくりや、窓の外をみると、庭園があり、四季を感じられるようにしている。</p> | | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>共有空間の中でもソファや食事テーブル、和室等あり思い思いに過ごせるようにしている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 個人差があり個々の思いがある品物が持ち込まれているが、人によっては持ち込み品が少なく、その場合には職員の手作りの飾り付け等行い工夫をしている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室やトイレには札をかけているが、覚えておられる方も居るが入居されて間もない方にはスタッフが気掛けてさりげなく声かけをするようにしている。 | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2, 利用者の2/3くらい |
| | | | 3, 利用者の1/3くらい |
| | | | 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまにある |
| | | | 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と |
| | | | 2, 家族の2/3くらいと |
| | | | 3, 家族の1/3くらいと |
| | | | 4, ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|----------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19) | | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3, たまに |
| | | | 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1, 大いに増えている |
| | | ○ | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3, あまり増えていない |
| | | | 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12) | | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3, 職員の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3, 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |